

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立玉野高等学校		
実践者等	甲本 仁	実践日	令和3年10月4日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	体育(柔道)		
対象生徒(学年等)	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	武道		
使用したアプリ等	YouTube、映像遅延アプリ		
実践の概要(ねらい等)	柔道の受け身を正しく習得させるため、端末を活用して模範演技と自分の演技を比較したり、映像遅延装置ですぐに改善点を確認したりする。		
実践の内容			
1 準備運動			
2 受け身の形の模範演技を動画で確認 ・グループごとに「後ろ受け身」「横受け身」「前受け身」「前回り受け身」の師範演技の動画を見て、動作を確認する。			
3 動画で確認した動きを確認しながら受け身を練習			
4 受け身の形をChromebookで撮影し、グループで改善点を指摘しあう。			
5 映像遅延装置を活用し、自分の動作を確認し 2→3→4→5を繰り返しながら、練習する。			
※映像遅延装置とは、カメラなどの映像を、設定した秒数遅れで再生し、画面上に表示させることで、自分の動きを確認でき、次の動きの参考にすることができる。代表的なアプリ「Replay」「はなまるフォーム」「BaM Video Delay」			
6 本時のまとめ			
参考となるHP等			